

概要

医療を担当する場としての医療施設には、病院・診療所・老人保健施設があるほか、広い意味で薬局・医療品販売業も含まれます。

病院・診療所・老人保健施設については、その分布と整備の実態を明らかにするために、「医療施設調査」や「社会福祉施設等調査」「介護サービス施設・事業所調査」等が実施されています。

また、病院・老人保健施設における患者・入所者・通所者等の利用状況については、病院や老人保健施設の管理者から「報告」が提出されています。

病院・診療所の施設数及び病床数の年次推移は、表1のとおりです。

1 病院

(1) 平成18年10月1日現在の病院数は148施設で、前年と比べて5施設減少しています(休止、休診中の施設を除く)。人口10万対病院数は10.1(全国7.0)で、全国平均を上回っています。

なお、市部・郡部別にみると、市部10.3、郡部8.2となっています。

また、開設者別では、医療法人95施設(構成比64.2%)、個人3施設(同2.0%)、公的医療機関24施設(同16.2%)、公益法人14施設(同9.5%)、国4施設(同2.7%)等となっています。

(2) 平成18年10月1日現在の病院の病床数は23,452床で、前年に比べ322床減少しました。人口10万対病床数は1,606.3床(全国1,273.1床)です。

なお、病床を種類別にみると、一般病床12,423床(人口10万対850.9床)、精神病床5,209床(同356.8床)、結核病床153床(同10.5床)、感染病床26床(同1.8床)、療養病床5,641床(65歳以上人口10万対1,566.9床)となっています。

(3) 平成18年中の病院の利用状況をみると、在院患者延数は7,291,569人(前年7,427,827人)、平均在院日数は39.5日(同40.4日)、人口10万対1日平均外来患者数は1,564.4人(同1,629.4人)となっています。

また、病床利用率についてみると一般病床が81.0%(前年82.1%)、精神病床が89.2%(同89.5%)、結核病床が18.8%(同18.7%)で、全体では84.9%(同85.7%)となっています。

2 一般診療所

- (1) 平成18年10月1日現在の一般診療所数は1,226施設で、前年と比べて18施設増加しています(休止、休診中の施設を除く)。人口10万対一般診療所数は84.0(全国77.2)で、全国平均を上回っています。
- (2) 平成18年10月1日現在の一般診療所の病床数は5,126床で、前年に比べ375床減少しました。人口10万対病床数は351.1床(全国125.1床)で、全国平均を大幅に上回っています。

3 歯科診療所

平成18年10月1日現在の歯科診療所数は690施設で、前年と比べて4施設増加しています。人口10万対歯科診療所数は47.3(全国52.7)で、全国平均を下回っています。

4 薬局・医薬品販売業

- (1) 平成18年度末現在の薬局数は535施設です。
- (2) 平成18年度末現在の医薬品販売業を業種別にみると、一般販売業211(卸売を含む)、薬種商販売業143、配置販売業103、特例販売業98となっています。

5 介護老人保健施設

平成18年10月1日現在の介護老人保健施設数は前年と同数の62施設でした。入所定員数も前年と同様、4,971人でした。

6 訪問看護ステーション

平成18年10月1日現在の訪問看護ステーション数は79施設で、前年と比べて6施設減少しました。